

津波復興拠点整備事業まちづくりワーキンググループ 第5回 議事要旨

平成25年1月16日（水）午後1時30分～2時25分

市役所 1階 第一会議室

1. 開会（事務局）	
2. あいさつ（角田副市長）	
3. 資料説明（事務局）	
4. 意見発表	
久場清弘委員	- 記録として残す観点から、議事録から削除をしていただきたい部分がある。 - 前回議事要旨の修正であるが、3ページ下から5点目の「景観形成、迷惑行為の排除へは」を「景観形成、迷惑行為の排除は」としてほしい。また「地権者、賃貸を受ける人、土地を借りる人が個別に事業を行うことへの懸念がある」を削除してほしい。 - 下から3点目、「工業団地の経験でも」を「商業団地の経験でも」に修正してほしい。 - 下から2点目、「利用のルールを今後の検討会で検討することになる。この点を提言書に入れてほしい。」を「利用のルールを今後検討することも提言書に入れてほしい。」に修正してほしい。
西郷真理子委員	- 前回議事録の修正をお願いする。2ページ目の上から2点目「まちの中心地としての拠点として魅力があり利便性が高いということと思うので、見出しに違和感がある。」を「まちの中心地としての拠点として魅力があり利便性が高いということと思うので、そのような表現のしてはどうか。」に修正してほしい。 - 提言書10ページ「拠点エリア全体のエリアマネジメントや事業スキーム」を「拠点エリア全体のエリアマネジメントや民間投資を呼び込む事業スキーム」に修正してほしい。
久場清弘委員	提言書（案）については、事務局から説明があるか。この提言書の内容について、意見交換は行わないか。
事務局	特に修正すべき事項についてご意見をいただくことを考えているが、提言書の内容についての意見交換は、要望があれば行う。
佐々木輝昭委員	確認したいのだが、第2回資料にあった避難タワーについては、提言書（案）10ページの津波防災拠点施設の検討の中に含まれていると理解してよいのか。
事務局	10ページには、今後行っていくエリアマネジメント、津波防災拠点施設、商業等の民間施設のワーキングで検討する内容を記載している。避難タワーについては、津波防災拠点施設のワーキングの中で、具体的な内容を検討することを考えている。
鈴木佑典委員	3ページ①イに避難の安全性確保があり、②アに避難場所としての機能が記載されている。高齢者、障がい者など避難困難者の避難対策を講じる必要がある。避難困難者への避難介助が必要なので、避難経路の確保、避難の安全性確保のところで、避難援助について追記してはどうか。「避難困難者の対策を講じる」と追加してはどうか。避難の場合は、「避難弱者」というよりは「避難困難者」としたほうが適切な表現と思う。
鈴木宏延委員	「災害時要援護者」という表現がある。「避難困難者」としても間違いではないが、「災害時要援護者」のほうが適切かもしれない。
事務局	「災害弱者」という表現は訂正する。
角田副市長	①イにどんな言葉を使うかについての指摘である。
事務局	言葉は統一し、「災害時要援護者」としてはどうか。「避難時困難者の対策を講じる。」を追記する。
伊藤怜子委員	「災害弱者」という表現をする場合もある。災害時に特に守ってほしいという意味で「弱者」になる。「災害時要援護者」は、一部の支

	援が必要な人たちを指すのではないか。
鈴木宏延委員	要介護の観点とは異なり、災害時は子供たちも「災害時要援護者」の範疇になるため、問題ないのではないか。幅をもたせるなら「等」をつけてもよい。
鈴木佑典委員	言葉はそれぞれの使い方によって定義があるため、意図を定義づけすれば、そのような言葉でまとめてもよい。市民には説明していけばよい。
事務局	「災害時要援護者への避難の支援」を追加する。「災害弱者」は「災害時要援護者」と変更してよいか。４ページ表中の「災害弱者」の文言も変更することでよい。 ３ページ①イ 「災害時要援護者の避難の支援策を講ずる」を追記する。
久場清弘委員	２１ページ発言記録であるが、「商工会」を「商工会議所」に修正してほしい。 １５ページの東日本未来都市研究会の提案を、提言書に掲載する意図を説明してほしい。
事務局	提案は西郷委員から第４回ワーキングで説明のあった内容を、東日本未来都市研究会から資料提供いただき、掲載した。このような提案があったということで、次回以降のワーキングで検討してもらうことを考えている。
久場清弘委員	- この案は、これまでのワーキングでの議論で想定していなかった内容が含まれているので、確認したい。 - 産直市場が拠点区域の外側に設定されている。区域外の検討については、ワーキングでは初めて見る形になる。前回のご説明では、この案は商業者の希望であるということだった。このワーキングでは、区域内に産直市場や大型店を設定することで検討してきたが、東日本環境未来都市の提案で、２核１モールを構成できるのか、この場で議論してほしい。産直市場がこの位置にあるのは、商業者の希望であるということではないか。
西郷真理子委員	大船渡市は環境未来都市の指定を受けていることから、東日本未来都市研究会は、復興に関して環境未来都市の観点から意見を申し上げる立場である。環境未来都市の観点から拠点整備をどう考えるとよいのか、専門家の立場で議論していた。地元の意見が重要と考え、商工会議所の会議等に参加し、地元の意向を伺ってきた。昨年１０月に市にお願いし、地元の商業者の方々とワークショップの機会を設けていただき、主に夢商店街のみなさん、商店街のみなさんなど、積極的に活動している方々に参加していただき、ワークショップを実施した。海とのつながりが重要であると被災前から考えていた、海の近くに市場を設けることを被災前から考えていたということで、ご意見をいただいた。津波復興拠点整備区域の一部に「道の駅」を設けることで議論してきた経緯もある。産直市場の位置については、みなさんはいろいろな意見を持っていた。従来の場所でよいという人もいたり、海とのつながりで設置すべきという人もいた。短期間で提案をまとめるためには、商店会で考えた案がよいということになり、このような案をまとめさせていただいた。またみなさんで議論していただければありがたいと思っている。
久場清弘委員	産直市場はかなりの面積を占める。土地活用を検討するうえでも大きな検討課題である。今後の検討材料であるなら、表現を改めるほうがよい。説明を伺って、産直市場の位置については、現段階では未定と受け止めた。今後進めていくうえで、当事者を含めた関係者の判断を優先すべきと考えるので、今後の検討は必要であると思う。今までの議論の経過をふまえると、この位置がよいと決めるには、検討の時間は足りないと思う。この提言書はワーキングでの検討の報告書なので、場所を特定することは適切ではないと思うが、いかがか。
西郷真理子委員	前回ワーキングで、配置案は出さないほうがよいと申し上げたが、いろいろな意見があったほうがよいということで掲載されたものである。
久場清弘委員	この案を掲載するのは、この案に対してワーキングで議論したうえでのことではないかと思う。議事進行上のことなので、事務局から説明してほしい。

事務局	・ 提言書（案）10 ページに「イメージ図にとらわれず」という記載をふまえていること、イメージ図としては多様性があつたほうが次のワーキングのスタートにはよいというご意見もあつたため、掲載した。再度、この場で掲載するかどうか決めたい。
角田副市長	・ ワーキングで議論した他の案と並列させるのはいかがか、という指摘であると思う。議論したか、していないかの違いがわかるように掲載の方法を考えるとよいのではないか。
事務局	・ （１）（２）は議論した内容、（３）については、参考資料として掲載してはどうか。 ・ （３）は参考資料として掲載する。
久場清弘委員	・ 提案している内容だということは理解した。商業者の中でもいろいろな議論があつたということなので、提案段階であることを表記していただけるとありがたい。我々ワーキングの意見は反映されていない内容なので、「参考資料」の後に提案であるということを、説明して掲載していただけるとありがたい。
事務局	・ 「提案」とする場合は、東日本研究会からの提案とする必要がある。ワーキング委員の意見が反映されたものではない。 ・ 東日本未来都市からの提案としてよいか。
久場清弘委員	・ この提案を掲載する目的は、今後の検討材料として示すことにある。 ・ この案をそのまま掲載すると、産直市場が津波復興拠点整備区域外に設置されることが前提となるように見えてしまう。
伊東修委員	・ 商店街全体の意見ではないので、東日本未来都市研究会の提案として表記してもらうとありがたい。
事務局	・ （３）は「参考資料」として、東日本未来都市研究会より提案、として修正する。
鈴木佑典委員	・ 提言書（案）11 ページの高齢者施設の整備について、「しかし」が2回続いているので、表現を修正してすっきりさせてほしい。
事務局	・ 語句を修正する。「高齢者コレクティブハウスなどの配置が示されていましたが、津波復興拠点の整備は」と前文と連結させ、「しかし」を削除する。
5. 意見交換	
	（オブザーバーからの意見はなし）
6. 総括	
事務局	・ 審議した内容を修正し、提言書として市に提出する。 ・ 1月25日11時より、応接室で市長に提出する。 ・ オブザーバーからは意見は特にないということで、今回のワーキングは本日で終了する。 ・ ご審議いただき、ありがとうございます。私たちの熱い思いを次のワーキングに生かしていくので、次のワーキングでも引き続きお力をいただきたい。本日はありがとうございました。